勞働總同盟の新運動

九州四國に手を伸はし 會員勸誘計畫

勞働總同盟大阪聯合會は過般解決した東洋製鐵工の爭議を動機として夫等の職工を糾合し約四百名の會員を得たので更に關西九州四國に亘り一大組合組織の宣傳運動を起す事となり一方全九州團結運動のため西尾大阪聯合會主事は四日出發し福岡に向つた九州では先づ八幡製鐵所を中心として筑豐炭坑及び佐世保市外高見鑛業所長崎市三菱造船所、高島炭坑等の從業者を糾合する計畫である尚四國方面では愛媛縣下の住友製錬所新居濱製錬所尾の道船渠にも着手の筈である尚ほ同會現在會員は約一萬四千名に上つて居ると（大阪電話）

小倉の示威運動

向上會支部設置さる

過般八幡製鐵所職工の示威運動を機として小倉兵器製造所及び門司鐵道局小倉金田工場の職工中の一部二百餘名を以て大阪砲兵工廠向上會の支部を設置したが同支部では十一日午後小倉市馬借町宗安寺に於て八幡同志其他多數の應援を得て演說會を開き終つて示威運動に移り市中の主なる街路を練つて歩いた右普選促進演說會は十一日午後二時より開催十餘名の辯士交々起つて熱辯を揮ひ了つて百數十名は頗る平穩市中を練り歩いた

失業者に對する長崎縣の對策

建艦中止の結果三菱長崎造船所の職工解職或は轉業等の自然淘汰による失業者に就て本田長崎縣知事は縣當局の方針を語る

土佐、高尾の建造に從事して居た職工の今後の處置に關しては三菱側では特に留意し失業者の防止策が種々講究されて居るが恐らく失業等と云ふ事は一時的の現象で左程憂慮すべきもので無いと思ふもの、此際の事として伴はれぬ事であつて縣として相當に解職轉業者等のあるのは充分此點に就き研究を遂げ成るべく郷里に於ける農業漁業若くは其他の生業に復歸せしむる考へで目下當局市長及び警察署長等と聯絡を保ち萬々遺憾なきよう努めて居る倘全く他地方に轉業せんとするものには中央職業紹介所又は府縣並に官營工場等と連絡を保つ方針である倘本縣としても本市としても之が爲に經濟的の影響を蒙る様な事はあるまい却て職工の復歸に依り農業の勞力不足を補ふであらうと云ふ

職工側形勢觀望

三菱長崎造船過剩職工處分問題

特別手當薄しの聲

土佐高雄の二艦建造中止の結果三菱長崎造船所に於ける過剩職工が如何に處分せらるべきかは依然として世人注視の的になつて居る。長崎縣社會課では右會社の内情を調査して之れを

內務省に

報告した模樣であるが右の報告に依れば建造中止により差當り過剩を生ずる職工三千名の約一千名は同造船所内の其他の作業に振向け殘餘の二千名を近く減員する計畫であることは職工組織の通りらしい會社側では職工各自の自發的轉業の外會社自身が進んで解雇することは決して無いと云々と頻りに聲明して其の動搖を未然に防がんとして居るが一方職工側では殘業や歩增の減少に依つて果して如何なる程度まで其の收入に影響を來すべきかを觀望中の形勢で今日の所

會社側の

聲明に從つて特別手當を得て進んで轉業しやうとするものは殆ど皆無の狀態である且つ差迫つて動搖を來すべき形勢も見受けられぬ然し愈よ其の收入に多大の影響あることが明白となつた場合若くは前記二千名の減員が實行の步を進められて會社側から退職を餘儀なくせしめらるるもの續々として現はるゝに至つた場合果して今日のまゝ平靜なるを得べきかは一般に危惧せられて居る處である尙ほ傳へらるゝ所によれば會社の給與せんとする所謂特別手當なるものは二箇月分乃至四箇月分程度のものらしく是れが官業勞働者が

解職手當

二箇年分支給の運動を開始せんとしつゝあるに比すれば甚し薄きに過ぐるとの聲も聞こえて居る樣である

建艦中止に微動もせぬ

三菱兵器製作所

國家的道樂仕事で損益共にない

建艦中止問題から幾多の官民營工場が何れも善後策に沒頭せるを他所に三菱長崎兵器製作所は此低迷せる雰圍氣を超越し些の影響たも感ぜないと云ふのは其處に何等かの理由がなければならぬ竹村同所長を訪へば語つて曰く元來此の兵器製作所

創立の趣旨

は他の純營利的のものと異なり何でも岩崎社長交替の際海軍大臣に挨拶に行つたとき予がせめての望みは國家に奉公したいと云つたのに端を發し海軍と三菱の間に或る協定が成立し此の兵器製作所が生れた譯である從つて岩崎家の一の道樂商賣とも云へる大正六年創立以來一番景氣の好い時代にも一文の利益はなかつた自分は所長として洵に肩身が狹かつた兵器製作所と云つても仕事は

水雷製作が生命

である夫れから魚雷を多く作つて居る投資額は百二十萬圓に借金百萬圓合計二百二十萬圓にて之を以てすれば他に營利的事業が澤山あつたけれども如上の理由で唯國家に奉公する一念から出來たのであるから好況時代にも別に擴張もしない又擴張する必要もなかつたとすれば其規模は彼の島造船所と略ゞ一のものである若し

世の好況に伴ひ

擴張でもしたら大した損害はなかつたにしても、程度の影響は免れなかつたに違ひない夫れで中止命令に至つても組織の關係がない譯であるで從つて創立以來六ヶ年になるが別に損益もないと云ふ勘定に歸著した海軍側も此の事情が克く諒解して居る關係上如何に不況でも仕事上の關係は先づないと見て差支ない只又

華府會議に依り

補助艦の制限が永久にないものとすれば主力艦建造費は補助艦建造費に廻る事となるであらうから當然魚雷の需要が激增する事になるかと思はれるので或は中止命令に依り同所のみは益々繁昌するの奇現象を呈するとも圖り難いと云云